

# 夏の空堀川に、鮮やかに泳ぐ オイカワ

日照り続きで、水位が下がり、ところどころで流れが途絶えた状態の空堀川で、野鳥を探していると、水の流れの中に時折、不規則な波紋が広がっていました。アメンボかな？とみてみると、水面の下に何かがいるようです。遊歩道からはちょっと距離があるのですが、10cmほどのハヤたちが群れていました。

ハヤ（コイ科の淡水魚で細身魚の総称・釣り人の呼び名）たちは似ているので、種類まではわかりませんでした。時折、赤オレンジ色のヒレを持つ個体が見えました。ウグイなども、綺麗な婚姻色をしていますので、捕獲してみないと確実とはいえませんが、写真で確認すると、多分オイカワのようです。翌日、双眼鏡で観察をすると、やはり赤オレンジ色の長い尻ビレや、緑色の背中をした婚姻色の雄のようです。



干上がった空堀川

## オイカワ コイ目 コイ科 ハス属

R5,6,3 空堀川（清瀬市野塩橋～前原橋付近）

コイ科の淡水魚で、草食寄りの雑食性で昆虫なども食べるので、フライ・フィッシングでも釣れ、日本の川に普通にいます。本来は関東より西の本州や本州よりの四国や九州の一部の在来種でしたが、汚れの田水にも強く、人工的なアユの放流に稚魚が混じって、東北地方や奄美諸島などにも生息域が広がってしまい、地域によっては国内外来種です。細長い体形で、カワムツやウグイなどに似ていて、基本的な体色は、背側が青味のある灰色、腹側は白味の銀色です。体長は10～15cmで、雄の方が大きく、三角形の大きな尻れが特徴である。

繁殖期（5～8月）の雄の婚姻色が特有で、顔が黒、体側が青、腹側がピンク色を帯び、尻ビレがとても長くなり、背・胸・腹・尻ビレの縁が赤くなります。



雄（婚姻色） R5,8,3 空堀川



雌 R5,8,4 空堀川



R5,8,5 空堀川

（上：雄 下：雌）

### 【関連動画】

① オイカワの産卵 NHK for School  
[https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cip/?das\\_id=D0005402306\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/watch/cip/?das_id=D0005402306_00000)

### 【参考 HP】

② 東京都島しょ農林水産総合センターHP内  
 「お魚図鑑」

<https://www.ifarc.metro.tokyo.lg.jp/archive/27,939,55,225.html>

①



②



東京都島しょ農林水産総合センターHPより